

ちたま

していて、この両備バスの対応には拍手を送りたい気持ちです。

昨今、国際的救援活動についても公的機関の対応の遅れに不満の声もある中、両備バスの迅速な行動と柔軟な対応は、あっぱれといった感じですね。大野さんが十二分に現地での支援をして、元気で帰られる日を会社は違っても私たちも心待ちにしています。

バス会社の国際 救援活動に拍手

赤木 徹也 54 会社員

(岡山市)

AMDAの援助物資が輸送されましたが、その際、パワートリョベルカーの運転手が必要になり、岡山空港勤務、両備バス社員の大野さんが急ぎよ派遣メンバーに加わることになりました。出発前日のことです。

出発の日の午前中に東京に行き、インド大使館でビザを取得、午後には岡山に帰り、夜にはインドに向け飛び立って行きました。三十分間をかけた、当機はインドに着いたようです。大野さんは、パワートリョベルを現地で降ろし、四日にムンバイから帰国の予定でした。

ところが、数少ない情報ながら、さらに現地での協力が必要になり、今のところ十日ごろまで延長されたようです。他社のことですが、同じ岡山空港で勤務を